

在宅医療が注目されてから、訪問診療を中心に行う診療所が各地に増えている。また、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院など、在宅医療の担い手となる医療機関を評価する制度も定着している。この方向性は、重度者の療養や終末期にかかる莫大な医療費用を抑えるために国が立てた政策であったが、それは当事者にとって非常に意義あることで、結果的には在宅療養や在宅死が改めて評価される結果となった。反面、在宅医療を維持することの難しさも囁かれている。在宅医療の機能を維持するためには24時間体制での対応が不可欠であり、そこに関わる医師の負担があまりにも大きい。そのために、複数の診療所での協力体制、大規模病院との連携などが重要となる。現在の在宅医療における最も大きな課題はそこにある。

理学療法は、そのような一線からは若干離れた位置にあり、在宅医療で最も重要な「緊急時」をとすれば見失いがちになる。結果、在宅医療の流れについて行く形になる。医療機関にはケアが不足し、介護事業所には医療が不足しているが、それを埋められるものはリハビリテーションだと言った人がいる。ある意味その通りであるが、医療と介護の実際の境目では、理学療法はぼやけてしまっているのではないかと。数年前、在宅診療に取り組む経験豊富な医師に、「在宅療養されている患者様を診るとき、どのように大別して取り組みますか」と質問したことがある。このような奇問に、その医師はすぐに答えてくれた。「療養が緩和かを判断して取り組みます」。理学療法は医師のこのような判断の下で実施するものである。理学療法士はもっと医師に近づき、在宅での療養や終末期を支える一人として、もっと役に立つ取り組みを探さなければならないと考えた次第である。

在宅療養生活の中で、あらゆる意味で効果を現しているのが通所サービス(デイケア、デイサービス)である。通所サービス事業所は今や27,000か所を超え、そこで働く理学療法士もかなりの数にのぼる。理学療法士は、技術を磨くとともに利用者の在宅療養生活そのものを把握し、事業所全体を変えていくための取り組みが重要となる。この特集では、様々な側面から通所サービスで活躍する理学療法士に連携とその工夫を述べてもらった。武原光志先生は介護老人保健施設や介護老人福祉施設の施設長であり、松井一人先生も訪問や通所などの介護サービス事業所を複数経営する管理者である。これからも、全体を見渡してより良い理学療法をバランスよく提供し、維持期の中核となる通所サービスの中で活躍する理学療法士、そして経営する理学療法士が増えて行くことを願っている。

(金谷さとみ)

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
丹 井 勉
横 井 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 哲 夫
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 光 子
高 口 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
濱 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里

理学療法ジャーナル

(第45巻 第2号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2011年2月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当:阿部・吉永・山崎)

2011年 年間購読料(税込み、配送料
弊社負担) 冊子のみ 20,880 円、冊
子+電子版 27,200 円、電子版/個人
20,880 円、電子版/共有 24,020 円

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JCOPY <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。